

フィデシュアリー・デューティ宣言

【前文】ご恩奉公の生き方と仕事

私、岡本 和久は半世紀余に及ぶ証券市場での仕事を通じて多くのことを学ばせてもらった。証券市場は私を育ててくれたと言ってもよい。後期高齢者の仲間入りをした今、私の人生はご恩奉公の時代に入った。余生は「みんなのため、みらいのため」良いことのために使っていきたい。

証券市場の存在意義は企業などが長期安定資金を調達し、その資金で生活者・消費者にとって有益な事業を行う。同時に生活者に「将来の自分を今の自分が支える」手段としての長期投資の場を提供している。つまり、究極的には証券市場は生活者が「ゆたかでしあわせな人生」を送るために存在しているのだ。

しかし、その機能が十分に発揮されているかといえば必ずしもそうはいえない。その大きな理由は、金融商品の供給側と需要側である生活者の間が断絶されているからであろう。供給側の圧倒的支配力のもとに需要側である生活者が気づかぬままにコストを負担させられている現実も否定できない。つまり生活者の退職後の生活費となるべき資金が今日、流出しているのだ。

この問題の解決に必要なのは十分な知識、経験、倫理観を持つアドバイザーの存在である。生活者に寄り添い、伴奏者となる専門のアドバイザーが必要なのである。日本ではアドバイザーを称する者は多いが、残念ながらほとんどが金融機関に依存した存在である。

欧米では明らかに販売員とアドバイザーは分離されている。しかし、日本ではその点が極めて曖昧である。人生100年といわれる現代、この問題は深刻である。今、最も必要なのは生活者の伴走者たりうる独立したプロのアドバイザーを育成すると同時に、生活者に人生を通じての資産運用の基礎知識を啓蒙することである。

私なりのご恩奉公は日本に本格的なアドバイザーを育成し、認定し、支援することにある。また、生活者に基本的な金融、投資に必要な知識を普及することである。その目的を持って特定非営利活動法人「みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA®」（以下、FIWA協会）を2019年に仲間と設立した。この組織の活動により今から何十年も遠い将来リタイアする生活者がゆたかでしあわせな人生を送れるようにしたい。

私は妥協することなくこの目的に向かって仲間と共に一歩ずつ進んでいきたい。すべては「みんなのため、みらいのため」なのである。私はこの目的に忠実な生き方をすることをここに誓約し私のフィデシュアリー・デューティ宣言とする。

2022年4月1日
岡本 和久 CFA

フィデシュアリー・デューティ宣言

1. 私の活動方針：独立した職業としてのプロのアドバイザー

- 生活者が経済的束縛から解放され豊かで幸せな人生を実現できるため私がこれまで証券市場で学んだ知識と経験をもって情報提供を行います。私はプロのアドバイザーとして倫理観と誇りをもって世の中に貢献をしていきます。
- 私は常にプロのアドバイザーとして揺るがぬ倫理観に基づき行動し、アドバイザーというプロフェッションが世の中で尊敬される職業として成立するよう尽力します。
- 私は、投資教育、講演、情報提供等に際して常に生活者の最善の利益を最優先し、利益相反のない完全に独立かつ中立的な立場で活動を行います。

2. 活動の目的：生活者の長期的な物心両面での豊かさの追求

- 生活者がお金についての不安を解消し長期的な資産運用を無理なく行うことができるように、講演、投資教育、情報提供等を通じて啓蒙活動に力を注ぎます。
- 人生の目的である「しあわせ持ち」になるため「お金と心」両面で役立つアドバイスをを行い、「しあわせ持ちへのロードマップ」を生活者に提示します。
- 投資環境および市場の激変などに際し投資基本方針から投資行動が揺らぐことがないように投資教育家兼ファイナンシャル・ヒーラー®として生活者の心の安定に努め、生活者の長期投資を支えます。
- 生活者が資産運用の基本を学び自身で信念をもって実践できるようになることを投資教育の目的とします。

3. アドバイス業務：利益相反への最大限の配慮

- アドバイス業務が知識、経験と揺るがぬ倫理観に基づく世の中に尊敬されるプロフェッションとして成り立つように力を尽くします。
- 私は、保険会社、銀行、証券会社など金融機関が組成する金融商品の勧誘、販売、また販売の加担につながる行為を行いません。また、金融機関など利益相反の起こりえる組織から資金面、人材面などで一切、援助を受けません。
- 私は投資教育、講演等の生活者への費用負担を最小化するように努力いたします。

4. 業務遂行の姿勢；法律、規則、FIWA®協会の倫理規範、職業行為基準等を遵守

- FIWA®協会の定める倫理規範、職業行為基準等を遵守し、同協会の生活者とアドバイザーのためのミッションを通じてビジョンを実現できるよう尽力します。
- 私は投資助言、投資一任業を行わず投資判断に関する売買のタイミング、価値の判定などを推奨目的で行いません。また、いかなる者のためにも売買の発注、取次を代行いたしません。
- 生活者の利益に反する誤った事象、行為に対しては勇気を持って声をだしていきます。
- 多くの人が実現は「絶対無理」と思うことであっても「みんなのため、みらいのため」に良いこと、合理性のあることであれば生涯あくなきチャレンジを続けていきます。

以上